

職員による自己評価

A 環境面

- ・部屋のスペースの広さが狭く感じる。
- ・完全バリアフリーとは言えない。
- ・人員が適正なのか分からない。
- ・研修や外部の見学を行う機会がある。
- ・外部評価があるかが、分からない。
- ・業務改善が出来ているのか分からない。

B 児童への支援内容

- ・定期的にプランの検討が出来ている。
- ・必要に応じた話合や情報共有を行っている。
- ・日々の記録を取って支援の検討や今後の改善を行っている。

C 関係機関との連携

- ・学校とは情報共有や連携が取れているが、外部や地域との交流があまり出来ていない。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・家族へ利用時の様子や自宅での様子の情報共有等を日々伝達している。
- ・成長に伴っての話はどこまで出来ているか分からない。

E 非常対応

- ・マニュアルが不十分に感じる。
- ・虐待防止研修が職員間でも理解があまり出来ていない様子がある。

保護者による評価

A 環境面

- ・事業所の駐車場に雨除けの屋根が無い

B 児童への支援内容

- ・地域交流があるのかわからない。
- ・地域交流は難しいと思う。
- ・子どもは楽しんで帰ってきている様子がある。

C 事業所からの情報発信

- ・保護者会の機会が少ない。
- ・日々の状況説明や伝達がされている。
- ・必要に応じた説明と情報伝達が出来ている。

D 非常対応

- ・マニュアル説明があまり出来ていない。

その他

- ・子ども達はいつも楽しく利用出来ている様子が見られている。
- ・質の高さを求めるが、普段の短時間ではあれだけの内容は難しいと思う。

事業所内での分析

【共通点】

- ・地域交流が難しい。
- ・情報共有は職員、家族、学校と出来ている。
- ・非常災害マニュアルが不十分。

【相違点】

- ・特になし。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・ 家族との情報共有が日々出来ている。

事業所の改善点

- ・ 非常災害マニュアルの検討。
- ・ 地域交流へ向けての検討。

事業所の改善への取り組み

- ・ 地域交流の機会や方法を検討していく。
- ・ 非常災害マニュアルの作成に向けて検討し、作成していく。

事業所名 よこはまりバーサイド泉Ⅲひまわり

担当者 平野 孝彦

①子どもの活動等スペースが十分に確保されているか。



②職員の配置数や専門性は適切であるか。



③事業所設備等はスロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか



④子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等ディサービス計画が作成されているか



⑤活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか



⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか



⑦支援内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされているか



⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか



⑨保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか



⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか



⑪子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を設備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか



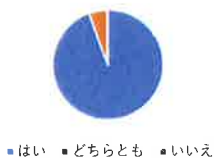
⑫子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか



⑬定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか



⑭個人情報に十分注意しているか



⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか



⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか



⑰子どもは通所を楽しみにしているか



⑱事業所の支援に満足しているか

